

第3次 木津川市公共下水道ストックマネジメント計画

木津川市上下水道部下水道課
策定：令和7年3月

①ストックマネジメント実施の基本方針

【状態監視保全】・・・ 機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能である施設を対象とする。

※状態監視保全とは、「施設・設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法をいう。

【時間計画保全】・・・ 機能発揮上、重要な施設であるが、劣化状況の把握が困難な施設を対象とする。

※時間計画保全とは、「施設・設備の特性に応じて予め定めた周期（目標耐用年数等）により対策を行う管理方法をいう。

【事後保全】・・・ 機能上、特に重要でない施設を対象とする。

※事後保全とは、「施設・設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法をいう。

備考）ストックマネジメントの実施にあたっての、施設の管理区分の設定方針を記載する。

② 施設の管理区分の設定

1) 状態監視保全施設

【管路施設（マンホールポンプ施設を除く）】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準 ※	備考
管きよ及びマンホール本体 (ふた含む)	点検：5年に1回 調査：10年に1回及び点検で異常が発見された場合	管きよ：緊急度Ⅰ及びⅡ マンホール本体：健全度Ⅳ及びⅤ マンホールふた：健全度Ⅰ	腐食の恐れの大 きい箇所
管きよ及びマンホール本体 (ふた含む)	点検：5～15年に1回 調査：10～30年に1回及び点 検で異常が発見された場合	管きよ：緊急度Ⅰ及びⅡ マンホール本体：健全度Ⅳ及びⅤ マンホールふた：健全度Ⅰ	一般環境下のう ち事故時の対応 が困難な箇所

※『簡易版実施方針』6-1 基本方針に記載のとおり

【処理場・ポンプ場施設（マンホールポンプ施設を含む）】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
躯体	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
付帯設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
仕上	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
防水	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
スクリーンかす設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚水沈砂設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚水ポンプ設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
反応タンク設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
最終沈殿池設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
消毒設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
用水設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥輸送・前処理設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥濃縮設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥貯留設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
調質設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥脱水設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
脱臭設備	1回/5年の頻度で視聴調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	

2) 時間計画保全施設

【管路施設（マンホールポンプ施設を除く）】

該当なし

【処理場・ポンプ場施設（マンホールポンプ施設を含む）】

施設名称	目標耐用年数	備考
消火災害防止設備	標準耐用年数の 1.5 倍	
受変電設備	標準耐用年数の 1.5 倍	
自家発電設備	標準耐用年数の 1.5 倍	
制御電源及び計装用電源設備	標準耐用年数の 1.5 倍	
負荷設備	標準耐用年数の 1.5 倍	
計測設備	標準耐用年数の 1.5 倍	
監視制御設備	標準耐用年数の 1.5 倍	

備考) 施設名称を「下水道施設の改築について（令和 4 年 4 月 1 日国水事第 67 号 下水道事業課長通知）」の別表に基づき記載する場合にあたっては、大分類、中分類、小分類のいずれで記載してもよい。

3) 主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管路施設（マンホールポンプ施設を除く）】

管きよ…

一般環境下のうち事故の際に想定される被害規模、交通環境などの布設現場における条件等により、比較的容易に対処が可能と判断できる管きよ施設を事後保全に分類した。

【処理場・ポンプ場施設（マンホールポンプ施設を含む）】

該当なし

③ 改築実施計画

1) 計画期間

(令和7年度 ～ 令和11年度)

2) 個別施設の改築計画

【管路施設（マンホールポンプ施設を除く）】

日常点検で異状が確認された場合、点検調査・修繕改築の検討を実施する。

【処理場・ポンプ場施設（マンホールポンプ施設を含む）】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用 (百万円)	備考
加茂浄化センター	汚水	汚水沈砂設備 揚砂ポンプ	H4	32	$\phi 80 \times 0.3\text{m}^3/\text{分} \times 20\text{m} \times 7.5\text{kW}$	2.2	
加茂浄化センター	汚水	汚水ポンプ設備 No.5 主ポンプ	H4	32	$\phi 200 \times 3.55\text{m}^3/\text{分} \times 11.5\text{m} \times 11\text{kW}$	8.1	
加茂浄化センター	汚水	汚水ポンプ設備 No.2 ポンプ 井攪拌機	H4	32	1.1kW	4.4	
加茂浄化センター	汚水	反応タンク設備 No.1-1OD 攪拌機	H4	32	22kW	66.1	
加茂浄化センター	汚水	反応タンク設備 No.1-2OD 攪拌機	H4	32	22kW	66.1	
加茂浄化センター	汚水	反応タンク設備 No.2-1OD 攪拌機	H4	32	22kW	73.4	
加茂浄化センター	汚水	反応タンク設備 No.2-2OD 攪拌機	H4	32	22kW	73.4	
加茂浄化センター	汚水	最終沈殿池設備 No.1 終沈汚泥かき寄せ機	H4	32	$\phi 20000 \times \phi H3500\text{mm} \times 0.4\text{kW}$	87.7	
加茂浄化センター	汚水	最終沈殿池設備 No.2 終沈汚泥かき寄せ機	H4	32	$\phi 20000 \times \phi H3500\text{mm} \times 0.4\text{kW}$	97.4	
加茂浄化センター	汚水	最終沈殿池設備 No.3 終沈汚泥かき寄せ機	H19	17	$\phi 21000 \times \phi H3500\text{mm} \times 0.4\text{kW}$	24.5	
加茂浄化センター	汚水	最終沈殿池設備 No.1-1 返送汚泥ポンプ	H4	32	$\phi 150 \times 2.1\text{m}^3/\text{分} \times 5\text{m} \times 5.5\text{kW}$	9.3	

加茂浄化センター	汚水	最終沈殿池設備 No.1-2 返送汚泥ポンプ	H4	32	$\phi 150 \times 2.1\text{m}^3/\text{分} \times 5\text{m} \times$ 5.5kW	9.3	
加茂浄化センター	汚水	最終沈殿池設備 No.2-1 返送汚泥ポンプ	H4	32	$\phi 150 \times 2.1\text{m}^3/\text{分} \times 5\text{m} \times$ 5.5kW	10.3	
加茂浄化センター	汚水	最終沈殿池設備 No.2-2 返送汚泥ポンプ	H4	32	$\phi 150 \times 2.1\text{m}^3/\text{分} \times 5\text{m} \times$ 5.5kW	10.3	
加茂浄化センター	汚水	消毒設備 No.2 次亜貯留タンク	H4	32	1.0m ³	3.6	
加茂浄化センター	汚水	消毒設備 No.1 次亜注入ポンプ	H4	32	$\phi 15 \times 0.368\text{L}/\text{分} \times 2\text{kg}/\text{m}^2$ $\times 0.4\text{kW}$	2.3	
加茂浄化センター	汚水	消毒設備 No.2 次亜注入ポンプ	H4	32	$\phi 15 \times 0.368\text{L}/\text{分} \times 2\text{kg}/\text{m}^2$ $\times 0.4\text{kW}$	2.3	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 消泡水用ストレーナ	H4	32	$\phi 80 \times 39\text{m}^3/\text{時} \times 0.4\text{kW}$	5.1	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 場内用ストレーナ	H4	32	$\phi 80 \times 19.2\text{m}^3/\text{時} \times 0.4\text{kW}$	5.1	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 No.1 場内用砂ろ過装置	H4	32	$25\text{m}^3/\text{時} \times 3.0\text{m}^2$	27.8	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 No.2 場内用砂ろ過装置	H4	32	$25\text{m}^3/\text{時} \times 3.0\text{m}^2$	27.8	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 No.1 場内用空気圧縮機	H4	32	$420\text{L}/\text{分} \times 0.8\text{Mpa} \times 3.7\text{kW}$	3.9	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 No.2 場内用空気圧縮機	H4	32	$420\text{L}/\text{分} \times 0.8\text{Mpa} \times 3.7\text{kW}$	3.9	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 No.1 消泡水ポンプ	H4	32	$\phi 65 \times 0.32\text{m}^3/\text{分} \times 18\text{m} \times$ 3.7kW	1.2	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 No.2 消泡水ポンプ	H4	32	$\phi 65 \times 0.32\text{m}^3/\text{分} \times 18\text{m} \times$ 3.7kW	1.2	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 No.1 場内用原水ポンプ	H4	32	$\phi 100 \times 0.65\text{m}^3/\text{分} \times 10\text{m} \times$ 3.7kW	1.1	
加茂浄化センター	汚水	用水設備 No.2 場内用原水ポンプ	H4	32	$\phi 100 \times 0.65\text{m}^3/\text{分} \times 10\text{m} \times$ 3.7kW	1.1	
加茂浄化センター	汚水	汚泥輸送・前処理設備 No.2 濃縮タンクかご式スクム分離機	H4	32	$0.5\text{t} \times 3\text{m} \times 0.12\text{m}^3$	5.8	
加茂浄化センター	汚水	汚泥濃縮設備 No.1 濃縮汚泥かき寄せ機	H19	17	$\phi 5500 \times \text{H}3000\text{mm} \times 0.4\text{kW}$	4.9	

加茂浄化センター	汚水	汚泥濃縮設備 No.2 濃縮汚泥かき寄せ機	H4	32	φ 5500×H3000mm×0.4kW	38.2	
加茂浄化センター	汚水	汚泥濃縮設備 No.1 濃縮汚泥引抜ポンプ	H4	32	φ 80×0.3m ³ /分×3m× 1.5kW	5.2	
加茂浄化センター	汚水	汚泥濃縮設備 No.2 濃縮汚泥引抜ポンプ	H4	32	φ 80×0.3m ³ /分×3m× 1.5kW	5.2	
加茂浄化センター	汚水	調質設備 No.2 空気圧縮機	H4	32	80L/分×8.5kgf/cm ² × 1.5kW	0.5	
加茂浄化センター	汚水	汚泥脱水設備 No.1 汚泥脱水機	H19	17	φ 700×2.2kW	93.8	
加茂浄化センター	汚水	脱臭設備 活性炭吸着塔	H4	32	33.5m ³ /分	34.5	
加茂浄化センター	汚水	受変電設備 高圧気中開閉器	H4	32	7.2KVA	1.9	
加茂浄化センター	汚水	負荷設備 水処理設備(1)コントロールセンタ (CC-2-1 カラ 2)	H4	32	屋内自立形：W600×H2300 ×D700mm×2 面	23.6	
加茂浄化センター	汚水	負荷設備 水処理設備(1)コントロールセンタ (CC-2-3 カラ 4)	H4	32	屋内自立形：W600×H2300 ×D700mm×2 面	26.2	
加茂浄化センター	汚水	負荷設備 汚泥処理設備コントロールセンタ (CC-4-1 カラ 3)	H4	32	屋内自立形：W600×H2300 ×D700mm×3 面	37.5	
加茂浄化センター	汚水	負荷設備 No3-1OD 攪拌機 VVF 盤 (VVVF-3-1)	H20	16	屋内自立形：W1100× H2300×D800mm	14.1	
加茂浄化センター	汚水	負荷設備 No3-2OD 攪拌機 VVF 盤 (VVVF-3-2)	H20	16	屋内自立形：W700×H2300 ×D800mm	14.1	
加茂浄化センター	汚水	計測設備 No.1 返送汚泥流量	H4	32	電磁式：φ 200×0～ 400m ³ /時	4.9	
加茂浄化センター	汚水	計測設備 No.2 返送汚泥流量	H4	32	電磁式：φ 200×0～ 400m ³ /時	5.4	
加茂浄化センター	汚水	計測設備 No.3 返送汚泥流量	H20	16	電磁式：φ 150×0～ 300m ³ /時	4.4	
加茂浄化センター	汚水	計測設備 放流流量計	H20	16	投込式：0～700m ³ /時	1.5	

加茂浄化センター	汚水	計測設備 余剰汚泥流量	H4	32	電磁式：150A×0～ 200m ³ /h	3.9	
加茂浄化センター	汚水	計測設備 濃縮汚泥引抜流量	H4	32	電磁式：80A×0～25m ³ /h	3.0	
加茂浄化センター	汚水	計測設備 No.3DO計	H20	16	フロート形：0～5mg/L	4.0	
加茂浄化センター	汚水	計測設備 UV計	H4	32	紫外線吸光光度法：0～ 1.0,COD:0～100mg/時	4.3	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 プログラマブルコントローラ盤(SQC-1)	H4	32	屋内自立形：W600×H2300 ×D800mm	70.6	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 No.1-1OD 攪拌機現場操作盤 (LCB-201A)	H4	32	屋外スタンド形：W700×H850 ×D400mm	2.0	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 No.2-1OD 攪拌機現場操作盤 (LCB-201C)	H4	32	屋外スタンド形：W700×H850 ×D400mm	2.3	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 No.1 終沈汚泥かき寄せ機現場 操作盤(LCB-202A)	H4	32	屋外スタンド形：W400×H800 ×D400mm	1.6	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 No.2 終沈汚泥かき寄せ機現場 操作盤(LCB-202B)	H4	32	屋外スタンド形：W400×H800 ×D400mm	1.8	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 No.1 返送汚泥ポンプ現場操作盤 (LCB-203A)	H4	32	屋内スタンド形：W800×H750 ×D300mm	1.6	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 No.2 返送汚泥ポンプ現場操作盤 (LCB-203B)	H4	32	屋内スタンド形：W800×H750 ×D300mm	1.8	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 次亜注入ポンプ現場操作盤 (LCB-204)	H4	32	屋内自立形：W700×H1900 ×D500mm	1.6	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 場内用原水ポンプ現場操作盤 (LCB-205)	H4	32	屋内スタンド形：W500×H800 ×D300mm	1.2	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 消泡水ポンプ現場操作盤 (LCB-206)	H4	32	屋内スタンド形：W500×H700 ×D300mm	1.2	

加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 No.1・2 終沈床排水ポンプ現場 操作盤(LCB-207)	H4	32	屋内壁掛形：W500×H800 ×D300mm	1.1	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 汚泥スクリーン現場操作盤(LCB-401)	H4	32	屋内スタンド形：W400×H600 ×D300mm	1.2	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 No.2 濃縮汚泥かき寄せ機現場 操作盤(LCB-402B)	H4	32	屋外スタンド形：W400×H800 ×D400mm	1.4	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 濃縮汚泥引抜設備現場操作盤 (LCB-403)	H4	32	屋内壁掛形：W800×H800 ×D300mm	2.0	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 汚泥濃縮棟床排水ポンプ現場 操作盤(LCB-411)	H4	32	屋内壁掛形：W500×H800 ×D300mm	1.4	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 作業用電源盤(LB-2-1)	H4	32	屋外スタンド形：W600×H600 ×D300mm	1.4	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 作業用電源盤(LB-2-2)	H4	32	屋外スタンド形：W600×H600 ×D300mm	1.4	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 作業用電源盤(LB-2-3)	H4	32	屋内壁掛形：W600×H600 ×D300mm	1.1	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 作業用電源盤(LB-2-4)	H4	32	屋外スタンド形：W600×H600 ×D300mm	1.4	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 作業用電源盤(LB-2-5)	H4	32	屋内壁掛形：W600×H600 ×D300mm	1.1	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 接地端子盤	H4	32	屋内壁掛形：W700×H850 ×D200mm	1.5	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 水処理設備(1)補助継電器盤 (21)(CC-2R-1)	H4	32	屋内自立形：W600×H2300 ×D700mm	28.7	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 水処理設備(1)補助継電器盤(22) (CC-2R-2)	H4	32	屋内自立形：W600×H2300 ×D700mm	31.9	
加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 汚泥処理施設(1) 補助継電器盤(41),(42) (CC-4R-1カラ2)	H4	32	屋内自立形：W600×H2300 ×D700mm×2面	18.0	

加茂浄化センター	汚水	監視制御設備 監視操作盤(CD-1カラ3)	H4	32	W1200mm+W1500mm+W800mm	88.2	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_大里1	H17	19	$\phi 80 \times 0.198\text{m}^3/\text{分} \times 6.0\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2.4	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_大里1	H17	19	$\phi 80 \times 0.198\text{m}^3/\text{分} \times 6.0\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2.4	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_大里1	H17	19	屋外ポンプ一体形: W550×H2050×D450mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_大里2	H17	19	屋外自立形: W1000×H1130×D400mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_大里3	H17	19	屋外ポンプ一体形: W540×H1840×D450mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_吐師1	H11	25	$\phi 100 \times 0.854\text{m}^3/\text{分} \times 15.5\text{m} \times 7.5\text{kW}$	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_吐師1	H11	25	$\phi 100 \times 0.854\text{m}^3/\text{分} \times 15.5\text{m} \times 7.5\text{kW}$	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_吐師1	H11	25	屋外ポンプ一体形: W420×H2230×D480mm	5.8	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_吐師2	H12	24	$\phi 80 \times 0.283\text{m}^3/\text{分} \times 8.1\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2.4	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_吐師2	H12	24	$\phi 80 \times 0.283\text{m}^3/\text{分} \times 8.1\text{m} \times 1.5\text{kW}$	2.4	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_吐師2	H12	24	屋外ポンプ一体形: W550×H2050×D450mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_吐師3	H13	23	$\phi 65 \times 0.283\text{m}^3/\text{分} \times 4.4\text{m} \times 0.75\text{kW}$	1.6	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_吐師3	H13	23	$\phi 65 \times 0.283\text{m}^3/\text{分} \times 4.4\text{m} \times 0.75\text{kW}$	1.6	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_吐師3	H13	23	屋外ポンプ一体形: W550×H2050×D450mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_吐師4	H13	23	$\phi 65 \times 0.159\text{m}^3/\text{分} \times 3.8\text{m} \times 0.75\text{kW}$	1.6	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_吐師4	H13	23	$\phi 65 \times 0.159\text{m}^3/\text{分} \times 3.8\text{m} \times 0.75\text{kW}$	1.6	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_吐師4	H13	23	屋外ポンプ一体形: W550×H2050×D450mm	5.7	

マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_北之庄 1	H17	19	屋外ポンプ一体形：W550× H2050×D450mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_北之庄 2	H18	18	屋外装柱形：W650×H1600 ×D350mm	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_木津 1	H13	23	屋外ポンプ一体形：W550× H2050×D450mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_城下	H17	19	屋外壁掛形：W640×H1600 ×D350mm	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	計測設備 水位計_木津 2	H22	14	投込式：0～5m	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_木津 2	H22	14	NTT 一般回線(TMD-V3)	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	計測設備 水位計_宮ノ内	H24	12	投込式：0～5m	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_宮ノ内	H24	12	NTT 一般回線(SV27)	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	計測設備 水位計_城山台 1	H25	11	投込式：0～5m	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_城山台 1	H25	11	携帯電話回線 (LTE)	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	計測設備 水位計_川端	H26	10	投込式：0～5m	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_川端	H26	10	NTT 一般回線	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_城山台 2	H27	9	NTT 一般回線	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_市坂	H28	8	NTT 一般回線	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_城山台 3	H30	6	NTT 一般回線	0.9	③ 維持管理 費の軽減
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_高島	H8	28	φ80×0.55m ³ /分×20.8m× 5.5kW	3.1	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_高島	H8	28	φ80×0.55m ³ /分×20.8m× 5.5kW	3.1	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_高島	H8	28	屋外ポンプ一体形：W500× H2250×D500mm	5.8	

マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_綾杉	H8	28	φ80×0.8m ³ /分×10.4m× 2.2kW	2.5	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_綾杉	H8	28	φ80×0.8m ³ /分×10.4m× 2.2kW	2.5	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_綾杉	H8	28	屋外ポンプ一体形：W500× H2350×D500mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_西黒部	H14	22	屋外装柱形：W700×H1300 ×D400mm	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_北代	H14	22	屋外装柱形：W700×H1300 ×D400mm	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_中浜	H17	19	屋外壁掛形：W700×H1500 ×D400mm	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_上狛小	H18	18	φ80×0.24m ³ /分×6.5m× 1.5kW	2.4	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_上狛小	H18	18	屋外装柱形：W700×H1300 ×D400mm	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	計測設備 水位計_上狛小	H18	18	投込式：0～5m	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	計測設備 水位計_綺田南	H22	14	投込式：0～5m	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_綺田南	H22	14	NTT 一般回線 (TH12-10)	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	計測設備 水位計_中井戸	H23	13	投込式：0～5m	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_中井戸	H23	13	NTT 一般回線	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_椿井 1	H30	6	NTT 一般回線	0.9	③ 維持管理 費の軽減
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_椿井 2	H30	6	NTT 一般回線	0.9	③ 維持管理 費の軽減
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_上狛 1	H30	6	無線回線	0.9	③ 維持管理 費の軽減
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_上狛 2	H30	6	無線回線	0.9	③ 維持管理 費の軽減
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_上狛 3	H30	6	無線回線	0.9	③ 維持管理 費の軽減

マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_上狛 4	H30	6	無線回線	0.9	③ 維持管理 費の軽減
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_小谷	H9	27	$\phi 80 \times 0.39\text{m}^3/\text{分} \times 20.5\text{m} \times$ 7.5kW	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_小谷	H9	27	$\phi 80 \times 0.39\text{m}^3/\text{分} \times 20.5\text{m} \times$ 7.5kW	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_小谷	H9	27	屋外ポンプ一体形：W400× H2230×D500mm	5.8	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_里	H13	23	$\phi 80 \times 0.45\text{m}^3/\text{分} \times 12\text{m} \times$ 5.5kW	3.1	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_里	H13	23	$\phi 80 \times 0.45\text{m}^3/\text{分} \times 12\text{m} \times$ 5.5kW	3.1	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_里	H13	23	屋外ポンプ一体形：W550× H2050×D450mm	5.8	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_兎並	H15	21	屋外装柱形：W700×H1650 ×D400mm	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.1ポンプ_大野	H15	21	$\phi 80 \times 0.45\text{m}^3/\text{分} \times 13\text{m} \times$ 5.5kW	3.1	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_大野	H15	21	屋外装柱形：W700×H1700 ×D400mm	5.1	
マンホールポンプ場	汚水	汚水ポンプ設備 No.2ポンプ_観音寺 1	H16	20	$\phi 80 \times 0.45\text{m}^3/\text{分} \times 8\text{m} \times$ 3.7kW	2.5	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_観音寺 1	H16	20	屋外壁掛形：W700×H1650 ×D400mm	5.0	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_観音寺 2	H18	18	屋外装柱形：W700×H1650 ×D400mm	5.1	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_高田 1	H15	21	屋外自立形：W700×H1700 ×D400mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_高田 2	H16	20	屋外自立形：W700×H1700 ×D400mm	5.7	
マンホールポンプ場	汚水	負荷設備 ポンプ操作盤_高田 3	H16	20	屋外壁掛形：W700×H1700 ×D400mm	5.1	
マンホールポンプ場	汚水	計測設備 水位計_美浪 1	H20	16	投込式：0～5m	0.9	
マンホールポンプ場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_美浪 1	H20	16	NTT 一般回線	0.9	

マンホールホ ^ン フ ^ン 場	汚水	計測設備 水位計_美浪 2	H20	16	投込式：0～5m	0.9	
マンホールホ ^ン フ ^ン 場	汚水	監視制御設備 遠方監視装置_美浪 2	H20	16	NTT 一般回線	0.9	
合計						1,459.3	

備考 1) 改築を実施する施設のうち、② 1) において状態監視保全施設もしくは時間計画保全施設に分類したものを記載する。

備考 2) 対象施設には、改築を行う部位、設備名称を記載する。記載にあたっては、「下水道施設の改築について（令和 4 年 4 月 1 日 国水下水第 67 号 下水道事業課長通知）」別表の中分類もしくは小分類を参考とする。

備考 3) 「下水道施設の改築について（令和 4 年 4 月 1 日 国水下水第 67 号 下水道事業課長通知）」別表に定める年数を経過していない施設について、備考欄において、同通知に定める「特殊な環境により機能維持が困難となった場合等」の内容について、以下の該当する番号及び概要を記載する。

- ① 塩害など避けられない自然条件あるいは著しい腐食の発生など計画段階では想定し得ない特殊な環境条件により機能維持が困難となった場合
- ② 施設の運転に必要なハード、ソフト機器の製造が中止されるなど、施設維持に支障をきたす場合
- ③ 省エネ機器の導入等により維持管理費の軽減が見込まれるなど、ライフサイクルコストの観点から改築することが経済的である場合
- ④ 高温焼却の新たな導入等により下水汚泥の焼却に伴い発生する一酸化二窒素（N₂O）排出量を削減する場合
- ⑤ 地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）に規定する「地方公共団体実行計画」に位置付けられ、当該計画の目標達成のために施設機能を向上させる必要がある場合
- ⑥ 標準活性汚泥法その他これと同程度に下水を処理することができる方法より高度な処理方法により放流水質を向上させる場合
- ⑦ 下水道施設の耐震化を行う場合
- ⑧ 浸水に対する安全度を向上させる場合
- ⑨ 下水道施設の耐水化を行う場合
- ⑩ 樋門等の自動化・無動力化・遠隔化を行う場合
- ⑪ マンホール蓋浮上防止対策を行う場合
- ⑫ 合流式下水道を改善する場合

備考 4) 改築事業の実施にあたっては、別途、詳細設計等において、効率的な手法等を検討すること。

④ ストックマネジメントの導入によるコスト縮減効果

概ねのコスト縮減額	試算の対象時期
約 150 百万円/年	概ね 100 年

上記コスト縮減額は、【処理場・ポンプ場施設（マンホールポンプ施設を含む）】について算出
（調査未実施の管渠は含まない）

備考）標準耐用年数で全てを改築した場合と比較して、②に基づき健全度・緊急度等や目標耐用年数を基本として改築を実施した場合のコスト縮減額を記載する。